

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市～鷓殿村	七里御浜海岸	◎						通年	延々22kmも続く日本一長い砂礫海岸。日本の渚100選にも選ばれアカウミガメの上陸地としても知られる。 <b>(世界文化遺産)</b>
熊野市 木本町	鬼ヶ城	◎	○					通年	約1kmの遊歩道に沿って波の浸食が削り上げた奇岩洞穴が続く。 <b>鬼征伐</b> 伝説が残る。 <b>(世界文化遺産)</b>
熊野市 有馬町	獅子岩	◎						通年	七里御浜の北端にそびえる奇岩。高さ25m、あたかも熊野灘にむかって吠える獅子のように見える。 <b>(世界文化遺産)</b>
熊野市	楯ヶ崎	◎						通年	神武天皇上陸の地と伝えられる大絶壁。 <b>何万本</b> もの岩の柱が巨大な楯となってそそり立つ。
熊野市 育生町	大丹倉(おおにぐら)	◎						通年	高さ300m、幅500mにおよぶ赤い大絶壁。行者の修行の場であったと伝えられる。
熊野市	七色峡	◎						通年	季節の移り変わりとともに川の水の色が七色に変化するという不思議な峡谷。
熊野市 大泊町	清滝(観音滝)	◎						通年	国道42号沿いにある落差60mの美しい滝。滝の上流には坂上田村麻呂の鬼征伐を伝える泊観音があることから別名「観音滝」ともいう。
熊野市 育生町	雨滝	◎						通年	大丹倉の近くにあり、滝壺は底が見えないくらい深い。日照りの際、近くの寺の釣鐘を滝壺につけ、雨乞いをしたことからこの名がついた。
熊野市 新鹿町	龍門滝	◎						通年	新鹿のシンボリックな落差約50mの大滝。白い龍が天に昇っていくようにみえることから、この名がついたとか。
熊野市 有馬町	雄雌(おんめ)の滝	◎						通年	産田川上流にある見応えのある2つの滝。水量が豊富で深い滝壺がある「雌の滝」、どしりと太く段々に流れる滝が「雄の滝」である。
熊野市	大又川の清流	◎					○	通年	アマゴがすむ澄みきった溪流。アユ釣りが解禁になると、釣り人で賑わう。

# 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 有馬町	花の窟(はなのいわや)神社		◎			○		通年	七里御浜に突出する高さ45mの巨岩をご神体とする、神話の国を象徴するような神社。(世界文化遺産)
熊野市 井戸町	大馬神社		◎			○		通年 大祭は1月6日	平安時代、この地方の賊を討った坂上田村麻呂の霊が大きな馬に乗って参詣の僧を案内したことから神社の名がついたといわれる。例大祭には烏帽子・直垂姿の男達による「弓引き神事」が行われる。秋(11月)の祭礼も神輿、だんじりの練り歩き、餅まきや俵の争奪戦などで賑わう。
熊野市 有馬町	産田神社		◎			○		通年 大祭は1月10日	この神社から神様を移し祀ったのが熊野本宮大社の起源と伝えられる。例大祭には烏帽子・帯刀の男子2名による御弓神事が行われる。さんま寿し発祥の地とか。
熊野市 二木島町	鯨の供養塔		◎					通年	浅間神社の登り口に建立。捕鯨発祥の地とされる熊野地方ならではの史跡。
熊野市 海岸部各所	猪垣(ししがき)		◎					通年	江戸時代、山から里におりてきて農作物を荒らす猪を防ぐために作られた長い石垣。
熊野市 波田須町	徐福の宮		◎					通年	秦の始皇帝の命をうけて不老不死の薬を求めてこの地に漂着した徐福を祀る。
熊野市 木本町	文字岩		◎					通年	江戸時代の医師で作家だった橋南谿(たちばななんけい)が徐福の宮を訪ねて感動し岩に書き残した詩を、後に木本の医師喜田玄卓が彫り刻ませたもの。
熊野市 波田須町	文字岩		◎					通年	熊野古道の途中にあり、「勤慎忍」の三文字が刻まれている。関ヶ原の合戦の頃の仇討ち話にまつわる悲話が残されている。
熊野市 五郷町	ホタルの里	◎						6~7月	大井谷地区ではホタルの保護に力を入れており、5~6月にはホタルの幻想的なショーが見られる。近年は護岸工事により減少。
熊野市 木本町	鬼ヶ城歩道トンネル(木本隧道)		◎			○		通年	1925年に完成した木本町と大泊町を結ぶ延長509mのれんがづくりのトンネル。平成15年度、歴史的価値の高い土木施設として「土木遺産」に三重県下で初めて認定された。
熊野市 二木島町	太郎坂広場					◎		通年	国道311号沿いに15年12月完成。熊野古道「曾根次郎坂太郎坂」の二木島側登り口付近にあり、楯ヶ崎が一望できる。

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市・御浜町・鵜殿村	くまの「木て海て市場」			○		◎		土曜日(持ち回り)	NPO「Theくまの」と生活創造圏ビジョンとの協働で実施している青空市。第2土曜はパーク七里御浜、第3は鵜殿港、第4は山崎運動公園で実施。H16.10月、金山町に常設店オープン。
熊野市 磯崎町	あさなぎ市			○		◎		月1回	県と「地産地消ネットワークみえ・熊野」がアンテナショップとして設置し、町おこしグループ「黒潮海童」とともに運営。地元熊野の「こだわり農産物」を安価で販売している。
熊野市 木本町	熊野へ いこらい市			○		◎		第4日曜	記念通り商店街で行われる青空市。
熊野市 木本町	いこらい広場				◎			通年	記念通り商店街にあり、休憩やミーティングに利用できる。物産の展示販売、パソコンコーナーもある。
熊野市 有馬町	お綱かけ神事		○			◎		2月2日 10月10日	花の窟神社の例大祭で行われる神事。日本書紀にも記述がある。
熊野市 二木島町	二木島まつり		○			◎		11月3日	飾り付けた2艘の船に約40人ずつが乗り込み、速さを競う。日本書紀の神武天皇上陸に因むまつり。県指定文化財。
熊野市 二木島町	奥山半僧坊大権現祭					◎		1月11日	最明寺の例大祭。奥山半僧坊大権現は遠州浜松の大体山広寺の守護神で、靈験あらたかにしてよろずに好ましいと言い伝えられ、例大祭には近郊から多数の参拝者が訪れる。
熊野市 育生町	どぶろく祭り		○			◎		11月23日	大森神社の例祭の別名。約1ヶ月かけて造られた9斗9升9合のどぶろくを奉納したあと参詣者にふるまう。御神酒として製造が許可されているのは東海地方では白川郷と伊勢神宮、そして大森神社だけ。
熊野市 五郷町	かやの木まつり		○			◎		11月24日	地元有志でつくる「かやの木会」が交流と市文化財の「かやの木」「元庄屋の家屋」の保存を目的に開催。来場者に酒や郷土料理をふるまい、特産品販売、踊りや民謡の披露もあり。
熊野市 飛鳥町	ジャジャツクと火とぼし行事		○			◎		8月15・16日	江戸時代初期の開創である光福寺で行われる盆の行事。ジャジャツクとは太鼓と鉦を同時に打ちならす独特のリズムのこと。盆踊りの人寄せに鳴らされる。「火とぼし」は初盆の家から墓地まで108本のろうそくが並べられる風習。

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 木本町	木本まつり		○			◎		10月の第2日曜	木本神社の例大祭。だんじりや神輿、六法行列が練り歩く。
熊野市 井戸町	一乗寺(だるま市)					◎		1月7. 8日	南紀地方で唯一のだるま市。本堂では大小様々なだるまが売られ、祈禱が行われる正月の風物詩。また、9月下旬には万病封じの祈願「へちま封じ」が行われる。
熊野市 神川町	神川ふれあい桜まつり					◎		4月上旬	過疎化に歯止めをかけ、那智黒石のふるさとをPRしようと始まった手作りのイベント。約3千本の桜のもと、多彩な催しが行われる。
熊野市 七里御浜	泳げ！鯉のぼりくん					◎		GW	鬼ヶ城から獅子岩までの約1kmに200匹以上の鯉のぼりが潮風にはためくGWの名物行事。
熊野市 磯崎町	磯崎港まつり					◎		5月3日	井内浦農村公園を舞台にコンサートや地元特産品の販売などが行われる。
熊野市 二木島町	熊野灘ほうばい祭り					◎		5月4日	二木島・遊木・甫母の若者らで結成した「荒志」というグループの主催。関船漕ぎ体験やよさこいソーラン、鮮魚市などが行われる。
熊野市 七里御浜	熊野大花火		○			◎		8月17日	300余年の歴史を誇り、約1万発の花火が夜空を焦がす一大イベント。紀州路最大の花火大会。
熊野市・御浜町	紀伊半島寿野球大会					◎		11月上旬	紀伊半島の三重、奈良、和歌山、滋賀、神奈川の5県からチームが集まり熱戦を繰り広げる。参加資格は40歳以上、ナインの合計年齢は450歳以上などの条件がある。
熊野市	くまの駅伝大会					◎		1月第一日曜日	1990年まで市連合青年団が開催していた新春駅伝大会を95年に復活させた。例年100チームを越える参加がある。
熊野市・御浜町・紀和町	3DAY サイクルロードレース					◎		4月	平成17年で6回目。三重・奈良・和歌山の県境をこえた一大自転車レース。「熊野山岳コース」は熊野市山崎公園をスタート、100台以上の自転車が熊野市・御浜町かけぬける。
熊野市有馬町 市総合グラウンド、くまのスタジアムなど	熊野バッテリーキャンプ					◎		1月初旬	ソフトボールの基本技術から世界に通用する高度なテクニックまで楽しみながら習得できることをめざし、小学生やビギナーから日本リーグで活躍する一流選手まで全国から900人近くが参加。平成17年で17回目を数える。

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 波田須町	天女座		◎		○		○	通年	ミュージシャン矢吹紫帆・矢中鷹光夫妻が創り上げた「海の見える」音楽ホール&カフェ。文化の交流拠点。
熊野市 新鹿町	新鹿海水浴場	○					◎	夏季	日本の水浴場88選にも選ばれた、遠浅で透明度の高い海水浴場。
熊野市 大泊町	大泊海水浴場	○					◎	夏季	新鹿とともに地域を代表する海水浴場
熊野市 磯崎町	ダイビングリゾートくまの灘				○		◎	夏季	井内浦農村公園内に整備されたダイビング施設。
熊野市 有馬町	山崎運動公園				◎			通年	くまのスタジアムが完成して、プロ野球二軍戦の誘致も実現した。ほかにテニスコート、多目的グラウンドがある。
熊野市 有馬町	熊野市総合グラウンド				◎			通年	体育館・テニスコート・陸上競技場・プール・野球場の施設がある。
熊野市 金山町	金山パイロットみかん園			○			◎	10～12月	熊野市の3分の1の生産量を担う。シーズンにはみかん狩り客で賑わう。
熊野市 飛鳥町	道の駅 熊野きのくに			◎	○			通年	売店、木工品の加工施設、多目的ホール、ミニ公園など。
熊野市 木本町	紀南ツアーデザインセンター				◎			通年	16年6月オープン。地元の林業家が明治20年ころに建てた民家を改装。かまどや太い柱やはりなどはそのまま残した重厚な造り。紀南振興プロデューサーの橋川氏をセンター長として紀南地域の集客交流や旅の拠点としての役割を担う。
熊野市 木本町	古道茶屋にしご				◎			通年	熊野古道・松本峠の近くに16年3月にオープン。米屋だった木造家屋を改装し、市内の女性4人が熊野地方の家庭料理などで観光客らをもてなす。
熊野市 二木島町	太郎坂茶屋				◎			通年	古道「曾根次郎坂太郎坂」そばに、16年4月開店。郷土料理などで古道客らをもてなす。
熊野市 有馬町	茶屋 花の窟				◎			土日祝日・神社の祭礼時に開店	花の窟神社の入り口前にあり、地元の「パーク花の窟愛好会」が運営。休憩やお茶を飲んだりのほか、神社の護符や絵馬お白石、お菓子や古道のストラップなども販売している。
熊野市 木本町	六方の館				◎			通年	木本祭の際に行われる市の無形文化財「六方行列」の活動、交流の拠点として平成16年9月に開所。行列の道具や資料を陳列。

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 井戸町	かんぼの宿 熊野				○		◎	通年	熊野灘が一望できる高台にあり、壮大な眺めと天然温泉と郷土の食材を使った料理が自慢。
熊野市 神川町	そめやなないろ			○	◎			通年	本藍染めの工房。伝統的技法で手ぬぐい、バンダナ、のれん等の日常用品を染めている。
熊野市 磯崎町	熊野文化圏専門学校				◎			通年	16年4月開校。市が四日市の大橋学園に廃校となった泊小学校を無償貸与し誘致した。
熊野市 金山町	熊野少年自然の家				◎			通年	宿泊、研修施設、天文観測施設等を備え、さまざまな研修、合宿等に利用できる。各種体験メニューも充実。
熊野市 有馬町	熊野市歴史民俗資料館		○		◎			通年	縄文・弥生時代の土器などの出土品や生活、農林漁業に使われた道具等が展示されている。

# 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 紀和町 小川口	瀨峡	○					◎	通年	熊野川にそそぐ北上川上流、小川口にジェット船乗り場がある。
熊野市 紀和町	布引の滝	◎						通年	日本の滝百選。4段からなり、周囲の森は「切らずの森」として守られている。下流には「荒滝」もある。
熊野市 紀和町丸山	丸山千枚田		◎	○		○		5～9月	約1600枚の水田があり全国有数の規模を誇る。田植えや稲刈りには多くのオーナーが訪れる。
熊野市 紀和町 板屋	鉦山資料館		◎		○			通年	奈良時代に起源をもち、昭和53年に閉山した「紀州鉦山」の歴史資料を展示。
熊野市 紀和町	楊枝薬師堂		◎					通年	近松門左衛門の戯曲にも登場する「お柳の薬師さま」として知られる。
熊野市 紀和町	赤木城跡		◎					通年	築城当時の原型を残した貴重な史跡(国指定)
熊野市 紀和町	水車谷鉦山遺跡		◎					通年	中世の鉦山の様子をよく保っている。役所跡や焼窯跡も残り、送風管として使用された紀州竹も群生している。
熊野市 紀和町	外人墓地		◎					通年	昭和19年6月にイギリス兵300人が紀州鉦山に連行され20年8月までに16名が死亡。その収容所あとに建てられた十字架の墓標。
熊野市 紀和町 小川口	紀和の火まつり					◎		8月第1土曜日	高さ10数mの籠をめがけてタイムツを投げ入れる勇壮な祭り。
熊野市 紀和町	紀和ふるさとまつり					◎		11月3日	花木の競り市、農産物即売、千枚田米の試食など多彩な催し。

# 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
熊野市 紀和町小川口	ホテル瀨流荘				○		◎	通年	湯ノ口温泉からひいた湯でクアハウス的な温水プールも完備。
熊野市 紀和町丸山	千枚田荘				○		◎	通年	紀和町ふるさと公社経営の交流施設(宿泊棟、レストラン)
熊野市紀和町 湯ノ口	湯ノ口温泉				○		◎	通年	環境庁指定保養温泉地(バンガロー、コテージ、研修施設棟等)
熊野市紀和町 板屋	鉱山乃足湯(やまのあしゆ)				○			通年	鉱山資料館の横に16年3月にオープン。入鹿温泉の湯を引き込んでいる。無料。
熊野市紀和町 大栗須	千枚田オートキャンプ場				○		◎	通年	キャンプサイト、多目的休憩施設、会議室
熊野市紀和町	坑内電車(トロッコ電車)						◎	通年	紀州鉱山が栄えていたころの輸送車両。現在は旧鉱山跡の隧道を利用して、瀨流荘と湯ノ口温泉の間を観光運転している。
熊野市紀和町 長尾	長全寺のナギの木	◎						通年	県下最大級のナギの木。太い幹の中心部分が空洞となり、その中に直径30cmほどの幹がもう1本見られる不思議な木。
熊野市紀和町 小船	小船梅林	◎					○	2~3月	樹齢33年1.2ヘクタールに650本が植栽される。開花時期には「梅まつり」が開催。
熊野市紀和町 矢ノ川	雉放飼場			◎				通年	放鳥用日本雉約2千羽、食肉用高麗雉約4千羽を自然に近い状態で飼育。
熊野市紀和町 板屋	B&G紀和海洋センター				◎			通年	バレーボールコート2面、屋内プール、武道場を備える。
熊野市紀和町 小栗須	やきもの工房 しの			○	◎			通年	工房での販売を中心に、問屋へ卸す作品も製作。皿やカップなど日常で使える作品が多い。
熊野市紀和町 矢ノ川	木彫工房 通り屋			○	◎			通年	仏師である主人が開いた工房で、仏像のほかにも欄間などの装飾彫刻や壁掛け、置物などの木工品も注文を受ける。
熊野市紀和町 矢ノ川	吹きガラス工房 Mana			○	◎			通年	ペーパーウェイトやコップをつくる体験コースや花瓶などの通常コースで製作を学ぶことができる。工房内には自然を題材にしたガラス細工が展示され、販売もしている。

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
御浜町 上野	風伝峠の朝霧	◎						初秋～春先	霧の多い峠で、特に滝のように流れ落ちる朝霧は幻想的。
御浜町 片川	桃太郎岩	◎						通年	片上川上流にある岩で、大きな丸い岩が二つに割れた形は桃がわれているかのようである。マユミノ渓谷も美しい。
御浜町 下市木	下市木のイブキ	◎						通年	周囲5m高さ13m樹齢600年余の古木。県指定天然記念物。
御浜町 引作	引作の大クス(阿田和の大楠)	◎						通年	周囲16m高さ40m。紀伊半島最大の巨木で樹齢1500年余りと伝えられる。博物学者の南方熊楠や民俗学の第一人者の柳田国男がこの木の保存に力を尽くしたという。県指定天然記念物。
御浜町 神木	神木のイヌマキ	◎						通年	樹高20m幹の周囲5.5m樹齢800年。イヌマキとしては三重県で最大の太さという。かつては神社の境内にあったが明治に移転した際、この木だけが取り残された。
御浜町 神木	原地神社		◎				○	例大祭11月23日	天照大神を祭る由緒ある神社。秋の例大祭には子供神輿や花車が地区を練り歩き、ソーラン踊りや餅まきなどが行われ、多くの参拝客でにぎわう。
御浜町 阪本	紀州犬のふるさと		◎					通年	阪本地区が紀州犬発祥の地とされる。三重県の天然記念物に指定され、勇猛果敢な気性から古来より猟犬として親しまれている。江戸時代に実在した弥九郎という鉄砲打ちの名人の飼い犬「マン」が、新宮の殿様をイノシシから救ったという逸話があり、この「マン」が紀州犬の先祖と伝えられ、オオカミの血をひくといわれている。

# 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
御浜町 上野	さぎりの里			◎	○			通年	新鮮な農産物を販売。さぎり茶屋では地元食材を用いた料理を提供。また、熊野古道地域センターも併設し、古道来訪者に対して、情報提供の他、休憩所、トイレを設置している。
御浜町 阿田和	道の駅 パーク七里御浜			◎	○			通年	紀南地域の情報コーナー・みかんなど特産品販売・レストラン・ショッピングセンター
御浜町	寺谷総合公園				○		◎	通年	グラウンド・テニスコート遊歩道等。展望台からの眺望、蓮池のハスが楽しめる。
御浜町 阿田和	ふれあいビーチ						◎	通年	ヤシの木を植栽した芝生広場。熊野灘を望む七里御浜海岸の新しい観光スポット。
御浜町 神木	なかよしステーション神木			◎	○			通年	みかんや野菜の直売のほか地元特産品の展示コーナーもあり。
御浜町 下市木	ふるさと茶屋 おかげさんで			◎	○			通年	郷土料理を味わえるほか、特産品も販売している。みかんを素材にした弁当「みかんの里」がおすすめ。
御浜町 神木	御浜窯			◎				通年	七里御浜のマリンブルーなどに代表される郷土色豊かな陶磁器。
御浜町	市木木綿			◎				通年	天然の藍が染料で素朴な縦縞模様。丈夫で肌になじみやすく色落ちが少ないのが特
御浜町下市木	JA三重南紀統一選果場			◎				通年	かんきつ産地を象徴する広大なみかん畑と並び、紀南地域の産業の顔となるみかんの統一選果場。
御浜町阿田和	オレンジプラザ(みかんジュース工房) (パーク七里御浜ピネ内)			◎				通年	みかんジュースの製造工程も見学できる施設。

紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
紀宝町	飛雪の滝	◎	○					通年	高さ30m幅12mの滝。その昔、紀州藩主がその美しさに心打たれ詠んだ漢詩から名付けられた。
紀宝町	大烏帽子山	◎						通年	頂上には展望台があり、七里御浜海岸や熊野、紀州の山々が見晴らせる。標高362mの散策コースながら展望は町内随一。道の駅「紀宝町ウミガメ公園」から徒歩で約2時間。
紀宝町	子ノ泊山	◎						通年	町内の最高峰。標高906.7mからの眺望は太平洋、熊野灘、熊野川と十津川の峯々が見晴らせる。*写真なし
紀宝町大里	大里自然プール	◎					○	7月上旬 ～9月上旬	清流(相野谷川)の透き通った川の水をせき止めて作った自然のプール。水泳、鮎やハヤなどの生体観察など自然を満喫できる。
紀宝町大里	大里親水公園	◎					○	通年	相野谷川上流にある自然を活かして整備された公園。春は桜の花見、夏は子供夏祭りが開催される。また、せせらぎを利用した森林浴もできる。
紀宝町井田	観光地引き網						○	通年(予約)	七里御浜の中でも美しい井田海岸では、雄大な熊野灘で育まれた活きのいい魚を獲る地引き網漁をグループで体験できる。
紀宝町大里	田代公園						○	通年	山の斜面を利用した公園。全長72mのローラー滑り台をはじめとして各種遊具があり、手軽な休日を楽しむことができる。
紀宝町	紀宝フェスティバル					◎		10月	紀宝町の一大イベント。多彩な催しが行われ、賑わいをみせる。
紀宝町	浅里瀧まつり					◎		10月下旬 ～ 11月上旬	飛雪の滝をバックに、伝統芸能など多彩な催しが行われる。
紀宝町 大里	光の祭典in紀宝					◎		12月下旬	田代公園のふるさと資料館周辺で開催されるイルミネーションの祭典。平成17年で5回目を数え、約14万個の電球が輝く。イルミネーションコンテストや歌や楽器演奏などが行われる。
紀宝町大里	イルミネーション点灯					◎		12/1～ 1月上旬	約20mの高さの電飾ツリーをはじめ、光のトンネルなど約1ヶ月にわたりイルミネーションが点灯する。
紀宝町 大里	ほたるまつり					◎		5月下旬	ホテル保護啓発を目的としたイベント。こども太鼓「ほたる夢太鼓」の演奏や、会場内には町内小学生のホテル保護をイメージした灯籠が会場を幻想的に彩る。

## 紀南における地域資源一覧

紀宝町 井田	道の駅「紀宝町ウミガメ公園」				◎		○	通年	ウミガメ保護啓発活動の拠点。飼育棟では実際にウミガメを観察でき、17年4月にオープンした物産館では、物産販売の他、軽食、展望テラスなどの施設内容も充実した。
紀宝町 大里	紀宝町ふるさと資料館みどりの里				◎			通年	紀宝町の郷土資料を展示。生活風景や歴史をミニチュア模型とナレーションで紹介。
紀宝町	神内神社			◎				通年	別名「子安神社」として知られ、豊漁の神としての信仰も集めている。自然の岩にできた岩窟が社殿。11月23日の例祭には神輿やダンジリも出て、賑わいをみせる。
紀宝町	平尾井薬師			◎				通年	11世紀頃、熊野に御幸した白河法皇の勅願で建立されたと伝えられる。首から上の病の霊験あらたかとか。8月16日には「薬師踊り」が行われる。
紀宝町井田	井田観音			◎				通年	鎌倉時代の作といわれる観音像が祀られ、厄落とし観音として有名。戦前はおおいに賑わったという。
紀宝町 井田	井田神社			◎				通年	11月3日の秋祭りには神事や「浦安の舞」の奉納、趣向をこらしたパレードが行われる。
紀宝町 鮎田	牛鼻神社			◎				通年	牛の育成を守る神様として信仰があつい。
紀宝町	弁慶産屋の楠跡			◎				通年	弁慶の生家の庭にあったという楠の跡と伝えられる。

# 紀南における地域資源一覧

地域	名称	ジャンル						時期	内容
		自然	歴史・文化	産業	施設	祭・イベント	レジャー		
鵜殿村 鵜殿港	日本一小さい村の港まつり					◎		7月	朝市や「鵜殿ばやし」の総踊りなど各種イベントで鵜殿港一帯が賑わう。
鵜殿村	とうろう焼き					◎		8月15日	精霊送りの行事。灯ろうを焼き故人の冥福を祈る。
鵜殿村(・新宮市)	御船祭					◎		10月16日	熊野速玉大社の大祭。古くから航海、造船に長けた鵜殿の人々が守り伝えてきた「諸手船」が活躍する祭り。その昔、熊野の神が鵜殿村の貴称谷社に祭られたのち、船で新宮に移った際、鵜殿の人々が諸手船に乗り込んで先導、護衛したという故事を再現したといわれる。
鵜殿村	東正寺		◎					通年	慶長元年(1596)に建てられた小院が起源とされ、元禄13年(1700)現在の名となった。
鵜殿村 上野口	加持鼻王子権現跡		◎					通年	紀伊続風土記などの古文書に記述あり。津波により流失したが、その後現在地に移し祀られている。
鵜殿村	鵜殿城趾		◎					通年	7～800年前鵜殿氏により築城され、搔上式土塁という珍しい様式を伝えている。
鵜殿村	宝篋印塔		◎					通年	熊野川口を出入りする船の海上安全のため1748年建立。河口の状態が悪くなるとこの塔で祭典を催した。
鵜殿村	烏止野神社		◎					通年	暖帯林に囲まれ、ミカドアゲハ蝶が多数発生し、宮の森とともに村指定文化財として保護している。11月23日の例祭には諸手船を再現したダンジリ、子供みこしが練り歩く。
鵜殿村	貴称谷社(きねがたにしゃ)・鵜殿氏一門墓石群		◎					通年	諸国を遍歴した熊野三神をここにまつり、後に本宮と新宮にうつされたという記録がある。また、貴称谷社のすぐ脇に、中世、この地一帯を治めた鵜殿氏一門の墓石群がある。
鵜殿村	鵜殿村ふるさと歴史館		◎		○			通年	昔から木材業や回船業が発達していた鵜殿村の歴史資料が展示。鵜殿貯木場や機帆船などの資料を見ることができる。
鵜殿村	紀州製紙株式会社 紀州工場			◎				通年	昭和25年鵜殿村に創業した紀州製紙パルプが前身。現在、東京と大阪に本社をおく東証一部上場の大企業である。現在の紀州工場は昭和26年に建設された。鵜殿港に隣接する好立地を生かして主力工場として稼働中である。

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称	距離	所要時間	内容
熊野市(甫母峠)	曾根次郎坂・太郎坂	5km	2時間30分	その昔、紀伊と志摩の国境であったことから、自領(志摩)と他領(紀伊)がなまったものと言われている。
熊野市(二木島～新鹿)	二木島峠・逢神坂峠	4.5km	2時間30分	逢神とは伊勢と熊野の神が出会う場所とも、かつて狼が出没したからともいわれる。杉松の山林に端正な石畳道が通じている。
熊野市(新鹿～大泊)	波田須・大吹峠	5km	3時間	鎌倉期のもと思われる巨石の石畳が残る。徐福伝説や弘法伝説が残り、大吹峠は風情ある竹林の中を歩く。
熊野市(大泊～波田須)	観音道	4.7km	2時間50分	山道を1kmほど登ると清水寺(通称泊観音)があり、道中あちこちに石仏が残る。
熊野市(大泊～木本町)	松本峠	1.8km	1時間	鬼ヶ城の山手に位置し、竹林に囲まれた峠には鉄砲で撃たれた地蔵があり、途中の梅林からは七里御浜が一望できる。
熊野市～御浜町～紀宝町～新宮	浜街道	26.6km	9時間	七里御浜に沿って歩き、成川の渡しを経て新宮をめざす。途中にはイザナギノミコの御陵「花の窟」があり、往時は巡礼がいきかった巡礼道であった。
紀宝町井田	浜街道(横手地蔵付近)			横手地蔵付近は、遠く太平洋を一望できる小高い所にあり、ほころの横に湧き水は万病に効くと伝えられている。
御浜町	横垣峠	5.5km	2時間30分	花の窟から浜街道と別れ山間を本宮大社へ向かった本宮道にあり、町の民話にある水壺地蔵をすぎると峠には四阿(あずまや)が整備されている。
御浜町～熊野市紀和町	風伝峠	4km	1時間40分	本宮道は風伝峠の先で吉野へむかう北山道と分岐しており、峠は海辺と山村を結ぶ要衝であった。風伝とは風のよく通る場所を表し、朝霧が峠を吹き下りる「風伝おろし」は有名である。
熊野市紀和町	通り峠	5km	2時間	本宮道と別れ吉野方面へむかう北山道にあり、子安地蔵の祀られた峠道には石畳がよく残っている。丸山千枚田の展望スポットでもある。
熊野市紀和町～紀宝町	川端(川丈かわたけ)街道	20km	ドライブコース	本宮参拝のあと、貴族らは熊野川を船で新宮へ下ったが、庶民は熊野川東岸(左岸)の崖沿いを歩いた。古道の大半は失われたがところどころ岩壁を削った自然道が県道小船紀宝線ぞいにかいま見える。
紀宝町浅里	川端街道(宣旨帰り)	400m		熊野川沿いに残る古道。後白河法皇が宣旨(勅使)を送ったが、あまりの険しさゆえ引き返したと言われる難所。

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称(館長)	内容	電話番号	見学時期
熊野市木本町	糸川薬博物館(糸川浩)	薬看板や生活道具、薬草・薬酒など展示。	0597-85-2312	毎日
熊野市木本町	二丁目の井戸(斎藤修治)	商家の中庭にあり江戸時代に掘られたもの。市指定文化財。	0597-89-3110	毎日
熊野市木本町	中野陶器店(中野恵史)	昔ながらの商家の構造が残る。	0597-85-2540	毎日
熊野市有馬町	浜峰のひもの浜街道博物館(浜口克茂)	往時を偲ぶ古地図や漁業絵図を揃え、サンマ漁で賑わいのあった熊野古道浜街道界隈の様子も展示。	0597-85-3804	毎日
熊野市有馬町	小瀬川 紀州寒らん博物館(小瀬川裕通)	40年前から収集を始めた寒らんの数およそ400。館長は熊野愛蘭会会長である。	0597-89-2169	毎日
熊野市有馬町	卯吉考古資料館(楠本周二)	古文書や出土品が数多く展示。大小色とりどりの勾玉は必見	090-1419-2003	毎日
熊野市有馬町	古木・ひょうたん博物館(大谷正光)	ひょうたん細工、竹の花立て、紀伊半島一円の石などを展示。	0597-89-2182	毎日午前
熊野市波田須町	大正浪漫の博物館 天女座(矢吹紫帆)	古い工場を大正浪漫風リニューアルし、音楽ホールが誕生。カフェもあり海の眺めは絶景。	0597-88-6020	金土日のみ
熊野市新鹿町	古木竹細工博物館(西 貴久夫)	杉、樺、竹などの古木の根を磨き上げた作品を展示。杉の根の古木は樹齢千年を越える。	0597-86-0713	毎日
熊野市新鹿町	木古里きこり(佐野秀也)	古木の美しさを生かした花台や置物を展示。	0597-86-0084	毎日
熊野市飛鳥町	ひのき細工博物館(舩本輝男)	熊野特産のひのき材を使ったひのき板織額縁が展示。	0597-84-0700	毎日
熊野市飛鳥町	流れ谷歴史民俗資料館(小西清次)	市内山間部で使われていた農具、山林用具や生活用具など3千点余りのコレクション。	0597-84-0465	毎日
熊野市五郷町	かやのき資料館(尾中鋼治)	館長の旧宅は木挽き職として活躍した先祖代々のもので300年が経過。別棟には山林道具や古文書を陳列。	0597-83-0122	毎日
熊野市五郷町	熊野石蔵美術館(田垣内康夫)	館長の祖父の画業を顕彰するために開館。築120年の石蔵で文化庁登録有形文化財に指定。洋画や浮世絵、民具等を展示。	0597-85-4582	予約時
熊野市神川町	那智黒石工房 仮谷梅管堂(仮谷紘義)	那智黒石の硯や碁石、置物、金の純度を調べる試金石も展示。	0597-82-0015	毎日
熊野市神川町	那智黒博物館 徳村屋(徳村達男)	三代にわたる伝統の技と新しい意匠による那智黒石のすべてを見られる。	0597-82-0005	毎日
熊野市飛鳥町	飛鳥 いやしの館(伴 正)	古木の磨き上げた作品、寒らん100鉢等	0597-84-0363	毎日
熊野市紀和町 矢の川	木彫工房 通り屋(藤岡貴二)	熊野古道通り峠近くに居を構え、寺院からの注文で仏像を製作。ほかにもレリーフ等の製作工程を見学出来る。	05979-7-0623	毎日

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称(館長)	内容	電話番号	見学時期
熊野市紀和町 大栗須	高次元E陶器 入鹿窯 (大場邦昭)	有害な電磁波等を防ぐ「高次元エネルギー」入り素材を用いた陶器の製造展示販売。	05979-7-0534	毎日
熊野市紀和町 大栗須	新谷家具工房(新谷利雄)	紀伊半島の材料を使った手作り家具の工房。	05979-7-0978	毎日

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称(館長)	内容	電話番号	見学時期
御浜町阿田和	上野陶磁・起請(化粧)の水資料館(上野満)	中国の宣興窯、湖東焼など様々な陶器のコレクション。江戸時代からの化粧道具も数多く展示。	05979-2-1323	毎日
御浜町阿田和	古裂(こぎれ)博物館(井戸薫)	古布のパッチワークの収集。江戸時代から昭和までのものを数多く展示。	05979-2-2041	火曜除く
御浜町神木	御浜窯焼物館(中 丈治)	地場産業として昭和34年から創業。御浜焼の独創的な製法で作った陶器、置物、食器等を製造、展示している。	05979-2-2336	第2土、日祝除く
御浜町上野	エアープランツの館(芝崎裕也)	水分だけで栽培でき用土は必要としないエアープランツを常時30種以上栽培。	05979-4-1090	毎日
御浜町中立	らんの里(山崎達也)	胡蝶蘭を約2万鉢栽培。	05979-4-1867	毎日

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称(館長)	内容	電話番号	見学時期
紀宝町井田	盆栽紀州園博物館(櫻山功)	館長が丹精こめて育てた盆栽約30種類300鉢。	0735-32-1344	毎日
紀宝町井田	絵画&ビデオ博物館(前地実也・洋美)	夫は旅行、音楽、動物などのビデオ約2千本以上収集。妻は絵画サークルを主宰。その出品作品を展示。	0735-32-0895	1月、7月の末の日曜除く1週間ほど
紀宝町井田	ちぎり絵博物館(岡鼻三紀子)	趣味で始めたちぎり絵、パッチワーク、カントリードールなどの手芸作品を展示。	0735-32-1710	木・土除く
紀宝町井田	長生蘭・いわちどり博物館(峯上等)	いわちどりは、毎年4～5月に白や紫の花をつける。300点を陳列。	0735-32-1414	4月～5月下旬
紀宝町神内	ラン博物館(川原田豊)	ラン1800鉢、エビネ200鉢、ちどり200鉢、さつき100鉢。	0735-32-0566	毎日
紀宝町神内	趣味の盆栽(竹内行雄)	大鉢から小鉢まで数多くを自宅の庭に展示。	0735-32-0313	毎日
紀宝町神内	ホテル博物館(田尾友児)	館長はホテルを守る会のメンバー。ホテルの生態等のパネルを展示。	0735-32-2786	日曜のみ
紀宝町鮎田	児童書・郷土書方言資料館(福田学・美知子)	約20畳の書庫(雑誌も含め約1万冊)を開放。童話、絵本、郷土史、全国方言集、文学書など多数	0735-21-4748	毎日
紀宝町鮎田	折り紙博物館(和田二三子)	折り紙や広告チラシを利用して作るリサイクル折り紙を展示。折り方も教えてくれる。	0735-21-0709	金・土除く
紀宝町成川	みふね酢醸造博物館(中野匡裕)	伝統の古式天然醸造による酢づくりにこだわり、つくりあげた自然食酢。	0735-22-2139	1月～6月、10月
紀宝町成川	熊野現幻曼陀羅の館	写真家「今井紀彰」の作品(熊野現幻曼陀羅)と題された巨大コラージュ作品を展示。*写真なし。	0735-22-4366	1月～6月、10月
紀宝町井内	紀宝きのこ博物館(三島弘巳)	なめこの人工栽培について学べる。	0735-34-0870	土・日・月除く
紀宝町桐原	桐原博物館(向井忠好)	桐原地区の老人クラブが中心となり旧小学校跡地を利用して地区住民のコレクションや農機具を展示。炭焼きも行っている。	0735-34-0679	毎日

## 紀南における地域資源一覧

地域	名称(館長)	内容	電話番号	見学時期
鵜殿村	民芸品 隠居庵(糸川全三)	酒屋を経営する館長が趣味で収集した民芸品が多数展示。	0735-32-1548	毎日午後
鵜殿村	趣味の館 セッコク園(南 龍雄)	館長が昔採取し増殖したセッコクを中心にフウラン等を見学できる。	0735-32-0665	4月～5月
鵜殿村	カンランコレクション(萬浪秀規)	趣味として採集したカンラン、シュンランを約350鉢展示。	0735-32-0198	毎日午前
鵜殿村	川原街まちかど博物館(鈴木學)	洪水が多かった熊野川の河原で数百年以上も続いた「幻の街—川原町」の資料やNHKドラマ「ほんまもん」で使われた炭焼き小屋など展示。	0735-32-3079	金・土のみ